

5万6666円で、このうち15億5000万円を財政調整基金に積立てし、翌年度へ繰り越すべき財源を含む5億6210万6666円を、翌年度へ繰り越しました。

特別会計の決算は、国民健康保険特別会計が、歳入81億6309万1050円、歳出80億9118万6830円。下水道事業特別会計が、歳入18億2442万203円、歳出17億711万1127円。農業集落排水事業特別会計が、歳入5467万3789円、歳出4358万489円。介護保険特別会計が、歳入64億1795万5203円、歳出61億3608万9675円。後期高齢者医療特別会計が、歳入9億1856万5269円、歳出8億7468万3869円で、いずれの特別会計も黒字決算となりました。

請願の審議結果

▽旧県立館林高等技術専門学校跡地の活用に関する請願は、全員一致により採

択となりました。

▽議員の派遣については、市議会だよりについての調査

決算特別委員会

9月9日の本会議で、議員全員による決算特別委員会が設置され、17日から19日までの3日間にわたり審査が行われました。採決の結果は、賛成多数をもって、原案のとおり認定すべきものと議決されました。

総括

急速な少子高齢化の進展に伴う生産年齢人口の減少や社会保障費の増加、公共施設等の老朽化対策、予測できない自然災害への備えなど、地方財政を取り巻く環境は、依然として厳しい状況にあり、地方自治体は様々な課題に持続的かつ臨機応変に取り組んでいく必要がある。

このような状況の中、本市においては、平成30年度予算編成に当たり事業評価

を行うため、議員7名を派遣しようとするもので、全員一致で可決されました。

主な新規事業

を実施した上で、財政の健全性に留意しつつ、第五次総合計画に掲げる事業を具現化していくとともに、「先端のまち館林」として持続可能な魅力あるまちづくりを推進するため、様々な施策を実施した。

○雇用安定対策事業
移住定住促進通勤支援金を創設した。

○たてばやし商業支援事業
リノベーションまちづくり事業を実施し、エリア価

値を高めるまちづくりの推進を図った。

○防災関係
市民の防災意識向上のため、館林市ハザードブックを作成した。

○学校運営協議会設置事業
地域の教育力を学校運営に生かす学校運営協議会制度を、第四小学校において導入した。

○学校給食センターPFI運営事業
PFI方式により整備した学校給食センターによる給食の提供を開始した。



学校給食センター

○幼稚園施設整備事業
東幼稚園・西幼稚園のトイレ改修工事を実施した。

○向井千秋記念子ども科学館ROCKET事業
東京大学先端科学技術研究センターによる「異才発掘プロジェクトROCKET」と連携し、個性豊かな子どもたちに新しい学びの場の提供や個性に応じた支援を実施した。

主な継続事業

○一般廃棄物処理施設整備事業
新しいストックヤード建設のため、本年度は清掃センター焼却処理施設解体工事を開始した。

○金券発行事業

市民への各種補助金等を市内の店舗で使用できる金券で交付したほか、10%のプレミアム付館林市金券を発行し、一層の消費喚起及び地域経済の活性化を図った。

○幹線排水路整備事業

準用河川宮田川改修事業は、平成16年度から19か年継続事業として整備を進めているが、本年度は護岸築造工事48・6mを実施した。